

# 地域リハOT 便り vol.7

令和 3年

9 月

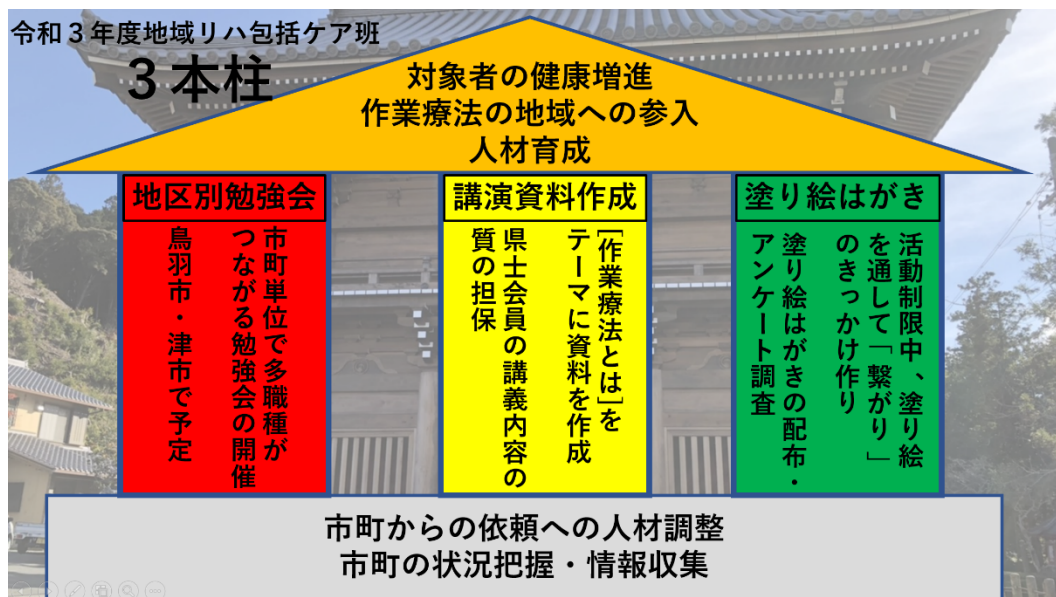
地域リハビリテーション部では、年に数回地域リハOT 便りを作成しています。今回は、地域包括ケア班での今年度の活動目標と取り組みの一つである「講演などで使用できる資料作成」について紹介します。作成に向けて会議を重ねていますが、完成しましたら皆様ぜひご講演の際にご利用ください！

【今年度の地域包括ケア班の活動】

地域包括ケア班 班長 伊藤 正敏

今年度の地域包括ケア班の活動として3本の柱を考えています。

1「地域別勉強会」、2「講演資料作成」、3「塗り絵はがき」を柱として、対象者の健康増進、地域生活に向けて活躍する作業療法士のサポートを進めています。



【講演資料作成チーム】

服部 智史

## 《なぜ作ろうと思ったか》

地域に作業療法士という名称は浸透してきていて、講師依頼を受けることが増えてきています。しかし、市町や関係他団体からは、具体的に作業療法ではどのようなことをするのか分かりにくいという声もあります。そこで地域包括ケア班では、県士会員の皆様が使用できる講演資料を作成しよう考えました。

《内容》「作業療法とは」について、PowerPoint 資料などを作成しています。

①行政やケアマネージャー等の他団体向け

②一般住民向け

詳細は現在検討中ですが、スライドの一部だけでも使用できる資料を作成しています。

可能かどうかはわかりませんが、動画も検討中です





# 地域リハOT 便り vol.8

地域リハビリテーション部では、年に数回地域リハOT 便りを作成しています。今回は、認知症とともに班の今年度の活動目標と事業計画について紹介します。

## 【今年度の認知症とともに班の活動】

認知症とともに班 班長 佐野 佑樹

認知症とともに班（旧認知症作業療法推進委員会）は2017年4月に発足し、①知識と技術の研鑽の場づくり、②作業療法士が地域に出て活動するための仕組みづくり、を目的に活動しています。メンバーは現在15名となり、三重県下における地域別ニーズに対応できるよう、北勢・中勢・南勢チームに分かれ活動しています。

今年度の事業計画では、(1)認知症フレンドリー研修会、(2)認知症アップデート研修会（8/1に実施）、(3)認知症スキルアップ研修会、(4)みえーる認知症OT交流会・オンライン勉強会、(5)OTオンライン回想法、の5つを予定しています。回想法は、現在三重県の認知症OTが認知症の人との交流支援や多世代をつなぐツールとして活用しており、複数の市町から講師依頼もあり、ニーズが高まってきています。そのため、昨年度から毎月1回、認知症の人の作業療法を行う際の関わり方の基礎を身につける、地域からの依頼に対応できることを目的にOTオンライン回想法を実施しています。広報は、県土会のLINEやInstagram、Facebookにて行っていますので、ご興味のある方は気軽にご参加ください。認知症フレンドリー研修会に向けた準備状況は、次回の地域リハ便り vol.9にて紹介させていただきますので、乞うご期待ください。

